

## 制度改革・構造改革のイメージ

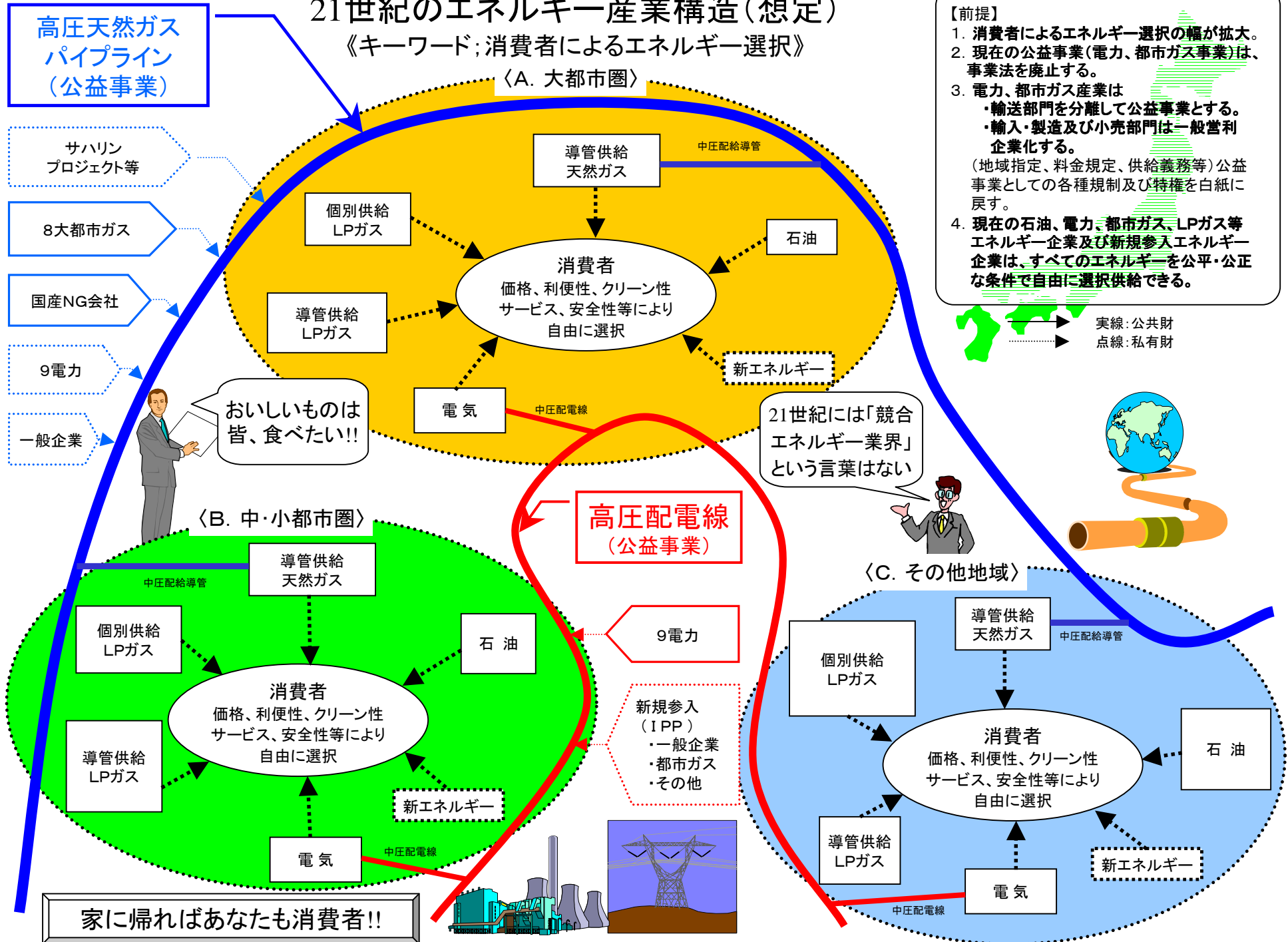
21世紀の天然ガス市場における  
新流通構造について  
(大 枠)

平成13年3月13日



# 21世紀のエネルギー産業構造(想定)

《キーワード;消費者によるエネルギー選択》



# パイプライン専門会社

## ( 1 ) 都市ガス会社

( 輸入・製造 ) ( 輸送 ) ( 販売 ) 一貫体制

→ 3 部門に経理区分

## ( 2 ) パイプライン専門会社の設立

→ 従来の都市ガス会社から、高中圧導管関連部門 ( 運用部門含む ) を分離、別会社化。

→ 高圧パイプライン部門は、パイプライン専門会社 ( HPLC ) となり、公益事業として国の許可を取得。

中圧パイプライン部門は、中圧配給導管専門会社 ( MPLC ) となり、公益事業として地方自治体の許可を取得。

解説 :

高中圧導管専門会社は、公益事業として、誰にでも差別なく、公平、公正な条件での導管使用を受託することを義務化。

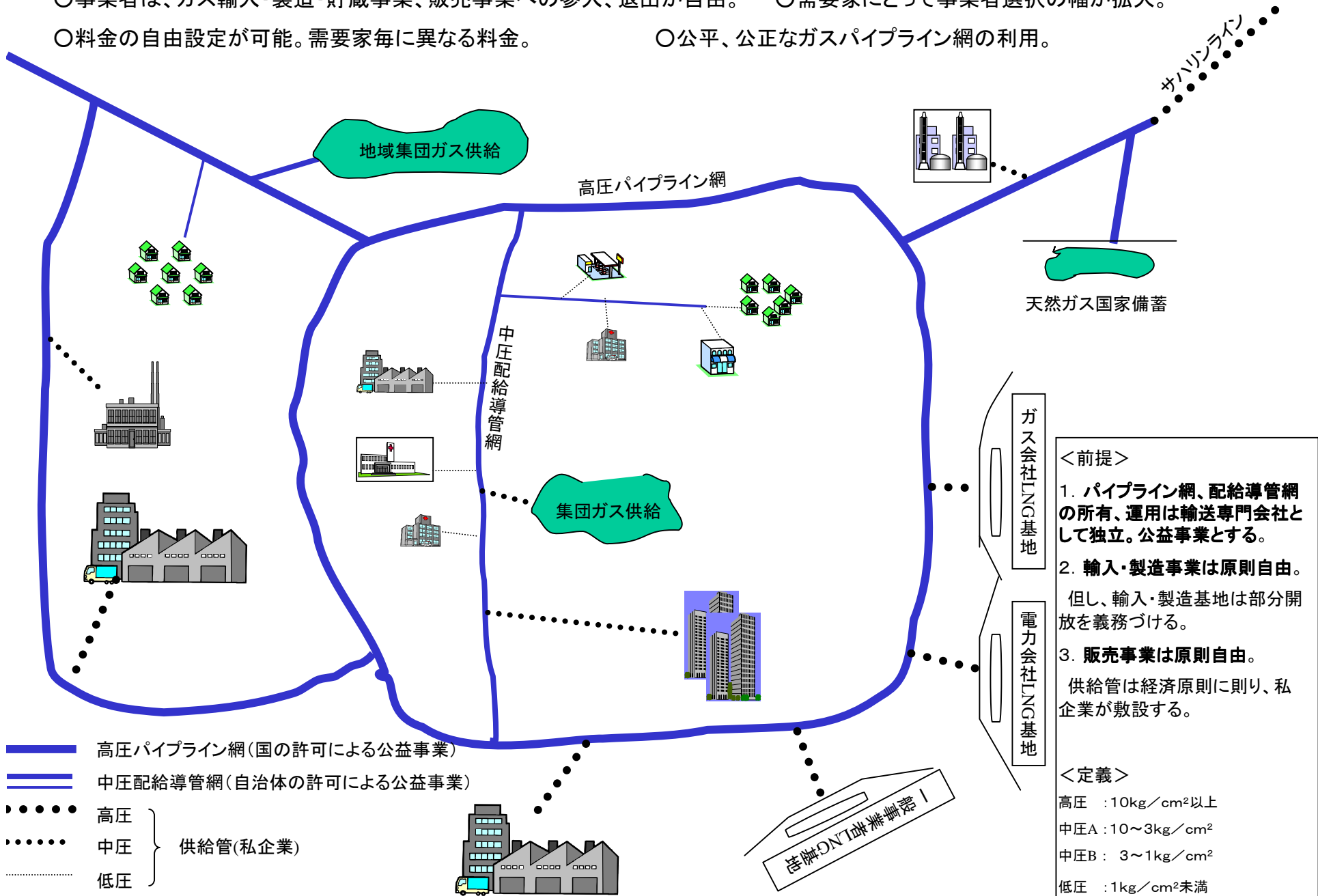
高中圧導管専門会社の託送料金は、認可料金。

注 1 ) 公益事業者の所有する導管網 ( 高圧パイプライン網、中圧配給導管網 ) 以外は、すべて経済原則に則り敷設される一般私企業 ( 天然ガス供給会社、小売事業者、需要家 ) の所有とする

# 関東

## 21世紀の天然ガスの新流通構造(物流)

- 事業者は、ガス輸入・製造・貯蔵事業、販売事業への参入、退出が自由。
- 需要家にとって事業者選択の幅が拡大。
- 料金の自由設定が可能。需要家毎に異なる料金。
- 公平、公正なガスパイプライン網の利用。



## 商 流

### ( 1 ) 高中圧導管専門会社の業務

天然ガス輸送の受託業務

天然ガスの仕入・販売。契約は大きく分けて2種類。

#### 継続供給契約（A契約）

天然ガスは供給事業者から相対契約（複数）で仕入、継続供給契約締結先への引き渡し出口において仕入と同額で引き渡す。

注1) 継続供給契約の構成比を90%以上とする。

注2) 天然ガス料金（公表）は託送料金と区別して請求する。

注3) 託送料金は、基本料金と従量料金で構成し、託送に係る固定費は継続供給契約の全数量で割り戻し、基本料金の中で回収する。

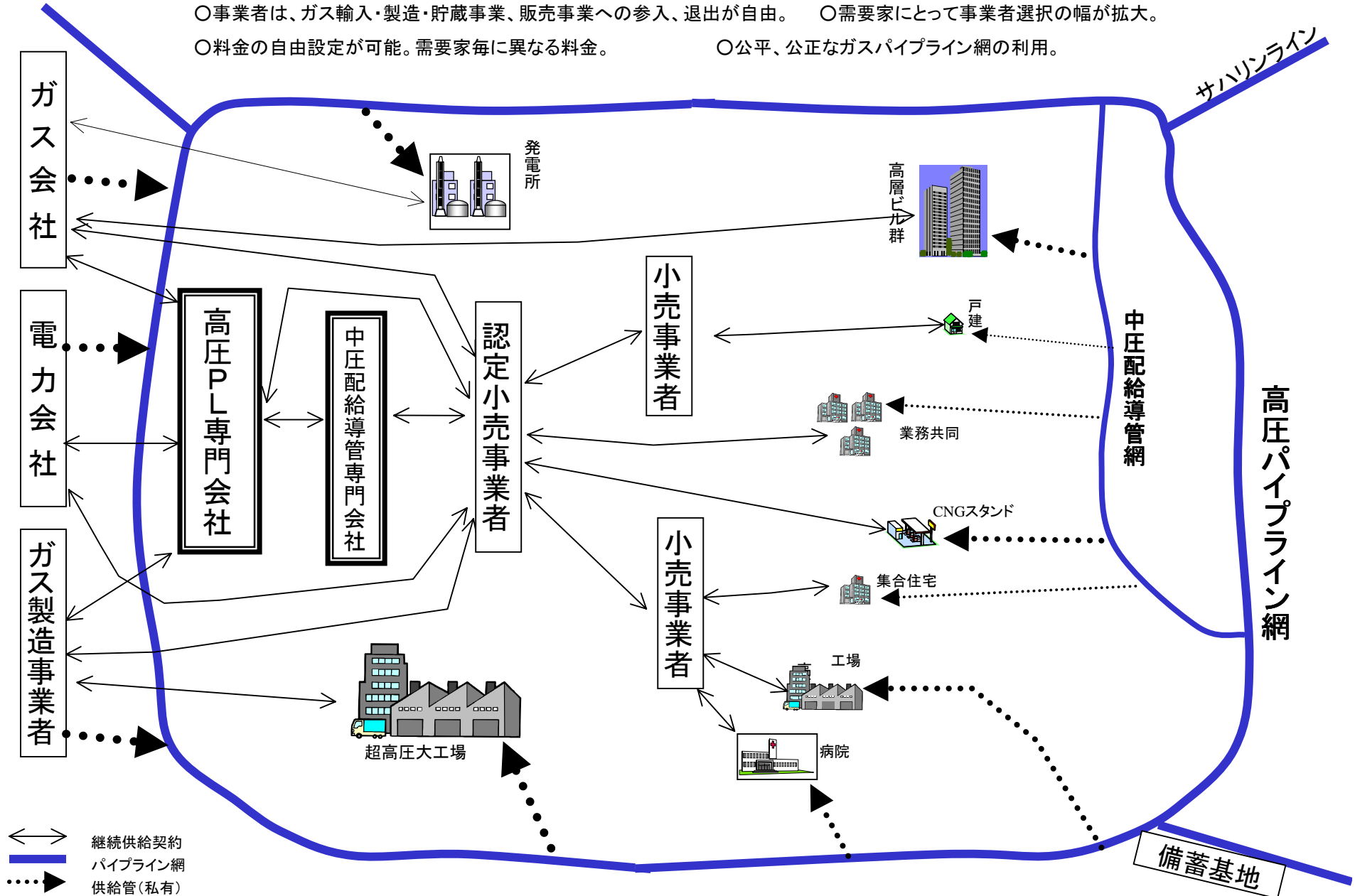
注4) 緊急時二法の発令時には、国家備蓄の放出時を含めて、政府方針に基づいた供給のコントロールを行う。（公益的課題対策）

注5) 環境保全に係る政府方針に基づく、インセンティブ付与に協力する。（公益的課題対策）

# 21世紀の天然ガスの新流通構造

## A 契約: 継続供給契約(当面90%以上義務付け)

- 事業者は、ガス輸入・製造・貯蔵事業、販売事業への参入、退出が自由。
- 需要家にとって事業者選択の幅が拡大。
- 料金の自由設定が可能。需要家毎に異なる料金。
- 公平、公正なガスパイプライン網の利用。



## スポット供給契約(B契約)

天然ガス商品取引所にて仕入。スポット契約締結先への引き渡し  
出口において仕入と同額で引き渡す。

注1) スポット供給契約の構成比を10%未満とする。

注2) 天然ガス料金は、託送料金とは区別して請求する。

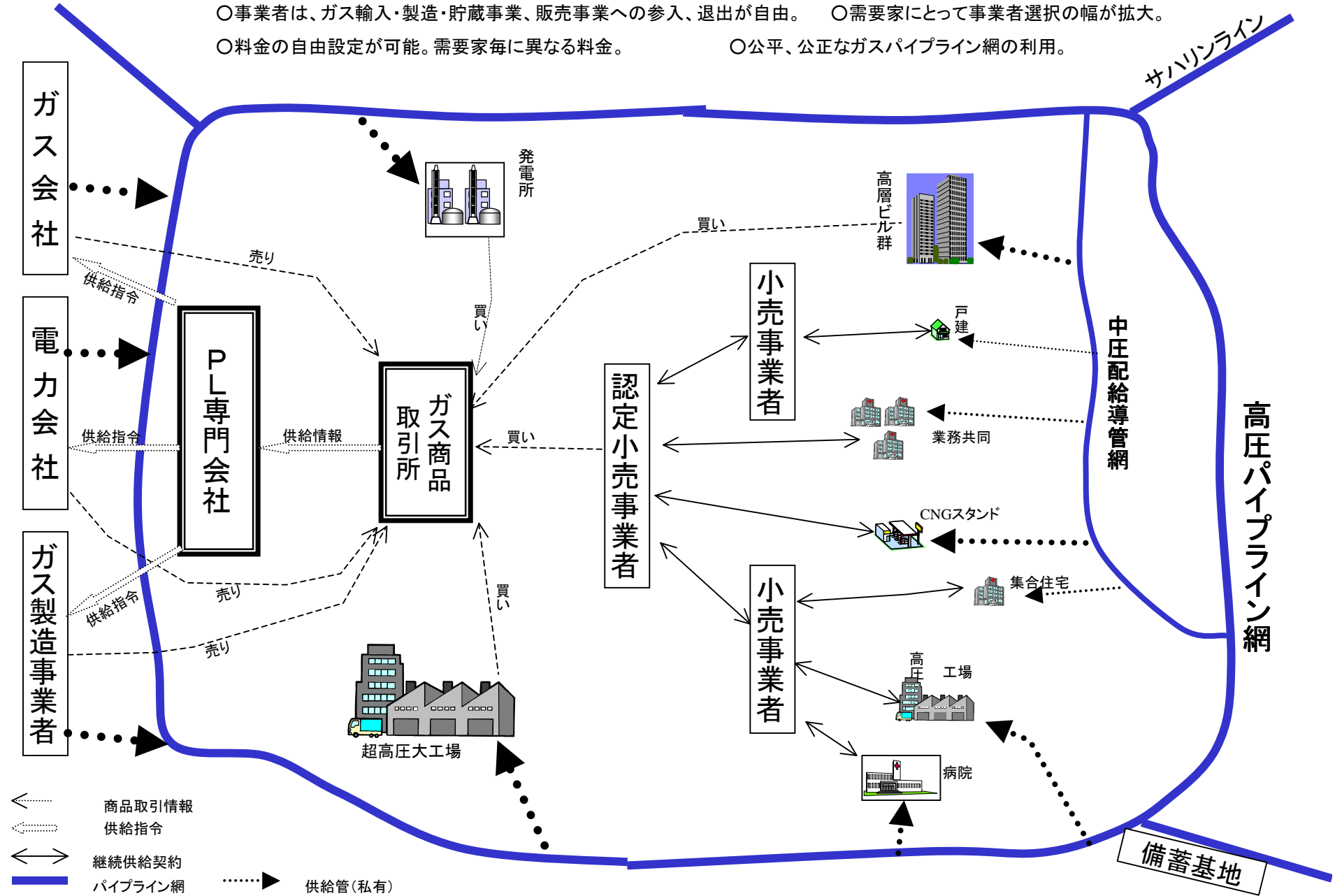
注3) 託送料金は、基本料金と従量料金で構成し、託送に係る固定費  
は、スポット取引の基本料金には含めない。

注4) 天然ガス商品取引所への参画には、一定の要件が求められる。

# 21世紀の天然ガスの新流通構造

## B契約: スポット供給契約(当面10%未満)

- 事業者は、ガス輸入・製造・貯蔵事業、販売事業への参入、退出が自由。
- 需要家にとって事業者選択の幅が拡大。
- 料金の自由設定が可能。需要家毎に異なる料金。
- 公平、公正なガスパイプライン網の利用。



## 一般私企業

- ( 1 ) 天然ガス供給会社、小売事業者等すべての一般私企業は、天然ガスの輸入・製造・貯蔵、販売事業への参入、退出が原則的に自由とする。
- ( 2 ) 経済的規制は、必要最小限とし、原則として行わない。
- ( 3 ) 需要家にとって高中圧導管専門会社をはじめ、販売事業者（天然ガス供給会社、小売事業者等すべての一般私企業）の選択幅が拡大する。
- ( 4 ) 需要家はエネルギーの購入にあたって、すべて相対契約を行う。

## 審議事項の列挙

### 今後の審議事項(制度設計)

#### <大枠議論>

- ◎垂直統合規制の継続か機能分離(アンバンドリング)か。
- ◎輸送部門は製造、貯蔵を含むかどうか。
- ◎LNG輸入基地(LNGターミナル)の開放問題
- ◎外資規制
- ◎低圧輸送部門を公益事業とするかどうか。
- ◎2010年までの制度改革スケジュール

#### <詳細設計議論>

- 公益事業者(輸送専門会社)の行う導管新設投資資金の確保の方法
- 最終供給保障の方法
- 弱者救済(政治的配慮)の資金調達の方法
- 低圧供給管(私有)の所有権移管の方法。(LPガス供給設備のルールが参考になるか)
- 小売価格のシーリング(プライスカップ制)採用の可否
- パイプライン開放(パイプラインへのアクセス)ルール
- LNG基地の開放に伴うLPG・石油基地の開放
- 都市ガス事業者の高カロリー化政策の見直し(増熱、13A統一の廃止等)
- ガス内々格差の考え方の整理
- 公営ガス事業者の経営問題(自由化による公営意識の喪失)
- その他